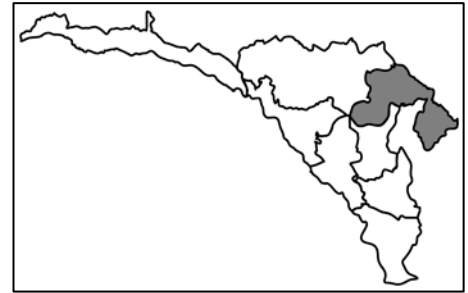


～鶴川地域～

◇町目構成◇

鶴川、三輪町、大蔵町、三輪緑山、能ヶ谷町、広袴町、
広袴、金井、薬師台、金井町の一部



鶴川地域は、町田市の北東部に位置し、川崎市や横浜市に隣接する地域です。河川や街道沿い、小田急線沿いの低地部分から幾筋もの丘陵の尾根が連なるなど、高低差に富み、起伏が豊かな丘陵地の地形が見られます。

緑豊かな丘陵の尾根に囲まれた住宅地や、里山や谷戸の田園風景がみられる一方で、鶴川団地など面的な整備が行われてきました。近年でも大規模な宅地開発が行われるなど、急激に変化している景観も見られます。

①景観づくりのテーマ

1) 尾根の緑に包まれた住宅地の景観づくり

丘陵の尾根の緑に包まれた住宅地の姿が鶴川地域のまち並みの特徴です。また、真光寺川や鶴見川などの河川や数多く見られる歴史・文化の面影も鶴川地域を特徴づける要素となっています。それらの特徴を生かした魅力的な景観づくりを進めます。

2) 鶴川駅周辺の秩序ある景観づくり

鶴川駅周辺では、まわりに広がる緑や商店街、住宅地の環境に十分配慮しながら、地域の日常生活の中心として、また人々が集まり交流する場として、にぎわいのある中にも秩序のある景観づくりを進めます。

②景観づくりの作法

<地形>

◇丘陵地の緑と起伏がつくる変化に富んだ眺め

鶴川地域には、多くの緑豊かな谷戸の景観が見られます。例えば、三輪町の妙福寺周辺を含む一帯には、緑が深く典型的な谷戸の景観が見られます。

幾筋もの尾根と谷によって複雑に入り組んだ地形は、さまざまな場所からさまざまな方向に眺望を体験することができます。地形の低い場所を流れる鶴見川や真光寺川からは、間近に迫る緑の斜面の尾根線が見られます。また鶴見川を上流方向に眺めると、遠くの山並みが正面に見渡すことができ、住吉橋付近からは、春日神社の鎮守の森が正面に見えるなど、特徴的な眺望が体験できます。金井4丁目などの視界の開けた小高い場所では、眼下に広がる住宅地の家並みを眺めることができ、緑のかたまりが小山のように残る姿など、地域の地形の特徴やまちの様子がよく理解できます。

幾筋もの尾根や谷によって複雑に入り組んだ地形によって、随所から見られる眺望に配慮し、その眺めを多くの人が共有できる景観づくりを行います。

◆配慮が求められる場所や景観の要素◆

見通しのきく場所／鶴見川などの河川沿い／
高台の公園・広場 などからの眺望



高台から望む住宅地の家並み

<農や緑>

◇町田を代表する丘陵地の緑豊かな景観

三輪町では多くが市街化調整区域に指定されており、それらの地域を中心に豊かな樹林や谷戸で形成された田畑などでは緑豊かな田園風景が見られますが、近年、農地の放棄・荒廃、資材置き場、残土・廃棄物の投棄などによって、良好な景観が脅かされている場所も見られます。

市街化調整区域内における丘陵地の樹林や農地、谷戸が形成されている緑豊かな景観を保全するとともに、それらに配慮し、一体となった景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

三輪町の市街化調整区域内の緑地

◇地域のシンボルとなるまとまりのある緑

鶴川中央公園や三輪中央公園などは、地域のシンボルとなる公園として市民に親しまれています。町田代官屋敷緑地保全地域、真光寺緑地、薬師台緑地など、住宅地の近くにまとまりのある緑が保全されています。これらの緑は離れた場所からも遠景、中景景観として楽しむことができ、落ち着きやうるおいをもたらしています。広袴公園など周辺的环境に調和した水と緑豊かな公園も見られます。

緑地や公園のまとまった緑のある景観を維持・保全するとともに、周辺では、積極的に緑化を行うなど、緑地や公園と一体となった緑の景観拠点をつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

鶴川中央公園／三輪中央公園など

<まち並み>

◇尾根の緑に包まれた住宅地

多くの住宅地の周りには尾根の緑が見られます。丘陵の緑の尾根は住宅地の背景となり、鶴川地域の特徴となっています。しかし一方では丘陵地を切り開き、谷戸を造成しながら開発が行われたため、尾根線の緑の分断もみられます。

尾根の緑に囲まれた、鶴川地域の住宅地の特徴に配慮した景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

鶴川地域の住宅地／背景の丘陵の緑の尾根線



尾根の緑に囲まれた住宅地



尾根の緑の稜線の保全

緑豊かな住宅地の形成

◇丘陵地に一体的に整備された住宅地

斜面地や尾根の緑を切り開き大規模に開発が行われた地域では、戸建て住宅の街並みが広がっています。三輪緑山や薬師台、金井などでは、閑静な低層住宅地が広がります。地区計画などまちづくりルールが定められている地域もあり、良好なまち並みが維持されています。



三輪緑山

丘陵地に一体的に整備された住宅地では、地域独自のルールを守り、地域の特色を尊重し、周囲のまち並みと調和した落ち着いた落ち着きのある良好な住宅地のまち並み景観を維持します。

◆配慮すべき景観要素◆

三輪緑山／薬師台／金井などの住宅地

◇農地や樹林が残り田園風景がみられる住宅地

鶴見川や真光寺川の周辺には、住宅地の中に農地が点在しています。しかし河川沿いの住宅の一部では、周囲の水と緑の豊かな環境に馴染まない色彩や形態の建物も見られます。

鶴見川・真光寺川の周辺に農地や樹林の残る地域では、緑の連続性に配慮し、積極的な緑化や緑が映えるような色彩を用いるなど、自然資源と調和したまち並みづくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

鶴見川・真光寺川周辺

◇大規模な集合住宅団地

鶴川団地のような大規模な集合住宅団地では、敷地内の豊かな緑と一体となり、中高層の建物が整然と建ち並ぶ特徴的な景観が見られます。

鶴川団地のような大規模な集合住宅団地では、建て替えや修繕等に際しても、大きく育った樹木の保全など、年月を経て培われた環境を継承します。

◆配慮すべき景観要素◆

鶴川団地内の緑や整然とした建物配置

<河川・水辺>

◇丘陵地を流れる鶴見川・真光寺川

鶴見川は、丘陵地の尾根の谷間を、曲線を描きながら西から東へ流れ、真光寺川などの支流と合流しながらひとつとなって流れていきます。鶴見川では河川改修が進められ、新しい流れがつけられている地域がありますが、一部ではこれまでの流れの形を残した整備が行われており、多様な生物の生息空間として維持されるとともに、かつての面影を残す水辺景観となっています。

鶴見川や真光寺川、その支流、湧水地等では、生物の生息環境にも配慮し、河川や水辺環境を生かした景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

鶴見川／真光寺川／湧水地



鶴見川

<沿道>

◇沿道開発の中にも歴史・文化の雰囲気を残す街道

鶴川街道や芝溝街道など主要な道路の沿道には、商業施設等の店舗が立地し多様な景観が見られます。またその一方で、随所に昔ながらの生垣や樹木が豊かに育った民家もみられるなど、地域の歴史・文化を感じさせるたたずまいを残す場所も見られます。また沿道の施設や交差点などでは、過度な色彩や表現の看板などにより、周辺と調和を欠いた場所が見られます。

主要な道路の沿道では、周辺の住宅地の環境に十分配慮した景観づくりを行います。また、街道沿いの旧家など歴史のある街道の面影を維持・保全し、それらと調和した景観づくりを行います。

◆配慮が求められる場所や景観の要素◆

鶴川街道・芝溝街道沿い／街道沿いの旧家や寺社など歴史のある街道の面影

<にぎわい>

◇開発が進む鶴川駅周辺

鶴川駅周辺では、駅北側を中心に近年開発整備が進んでいます。新しい施設が多く建設され、駅前の景観は変化しています。近くには香具山の山林などがあり、自然景観と新たな開発が混在した景観となっています。中には、過度な色彩や表現などの看板によって、駅前景観の調和を欠くものも見られます。開発整備が進む駅北側と南側では、まちの性格が異なり、景観の連続性も途切れています。

鶴川駅周辺は、地域の顔としての景観づくりを大切にします。また周辺の緑豊かな環境や住宅等に配慮しながら、一体感のある景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

鶴川駅周辺

<歴史・文化>

◇地域の歴史・文化資源が数多く残された景観

三輪町を中心に、古墳や寺社などの多くの歴史的資産があります。特に三輪町や能ヶ谷町の丘陵地には、緑豊かな自然環境と一体となった西谷戸横穴墓群など、他の地域と比べても多くの歴史的資産が残ります。

また、文化財に指定されているものもあります(妙福寺祖師堂・本堂鐘桜門・高麗門、熊野神社本殿、白洲次郎・正子旧宅)。中でも白洲次郎、正子氏が暮らした「武相荘」には、この地域の古き良き農家のたたずまいが残され、多くの観光客が訪れるスポットとして広く知られています。



西谷戸横穴墓群

こうした鶴川の歴史や文化に深く関わる主要な寺社や文化財の周辺では、周辺の緑の環境と一体となった景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

西谷戸横穴墓群／白坂横穴墓群／下三輪玉田谷戸横穴墓／妙福寺／熊野神社など

■鶴川地域の景観要素図（景観計画の策定の過程で行われた「景観市民調査会」の意見や提案等を参考に整理しています。）

